

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組

使用教科書： 地理総合（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察
- 【思考力、判断力、表現力等】 したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。
- 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に解決しようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図やGISなどを用いて諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、相互依存作用などに着目しつつ概念などを活用し、多角的、多面的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想、考察したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的に考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	A 球面上の世界 【知識・技能】 地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができる。	・地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解するとともに、経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につける。 ・教材 教科書・地図帳 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 地球上での位置、太陽高度の変化、緯度経度のしくみ、時差の計算について理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 球体としての地球の観点から、図を活用して地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 球体としての地球の把握に向け意欲的に探究し、作業や考察に取り組むことができたか。	○	○	○	3
	B 日本の位置と領域 【知識・技能】 世界地図の主な図法と利用について理解できる。 国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界地図を図法の違いにより使い分けられることができる。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができる。 日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができる。	・図法によって異なる世界地図の特色を捉え、スケール、視点、図法などを変化させながら、世界における日本の位置を理解するとともに、国境や国家の領域の世界的な基準を捉えながら、日本が抱える周辺諸国間との領有権の問題や海洋資源の利用について考える。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界地図の主な図法と利用について理解できたか。 国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について歴史的背景と空間的広がりを理解できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 世界地図を図法の違いにより使い分けられたか。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な世界地図の違いに関心を持ち、資料などから様々な世界地図の存在に気づくことができたか。 日本の領域に関する問題について、意欲的に探究し、海洋資源の問題とともに考えることができたか。	○	○	○	2
	C 国内や国家間の結びつき 【知識・技能】 人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 主題に対して適切な統計地図を作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できる。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 統計資料を意欲的に読み取り、それ	・グローバル化が進む世界において、国家間の協調や不均衡を理解するために、世界の実態を捉えるための道具としての統計地図やグラフのつくり方を理解するとともに、交通・通信、貿易・物流、観光の視点から、人やもの、情報、資本・サービスの移動のようすについて、統計地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身につける。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 人・モノ・情報の結びつきに関する知識を身につけたか。 統計資料から分布や変化などの特徴を見出す技能を身につけたか。 主題に対して適切な統計地図を作成できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の統計地図を結びつけ、世界の結びつきや偏りについて考察したことを説明できたか。 地図で示す主題によって統計地図の表現方法が異なることを考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 統計資料を意欲的に読み取り、それを表現できたか。 統計地図の作成に意欲的に取り組むことがで	○	○	○	4

学期	を表現できる。 統計地図の作成に意欲的に取り組むことができる。	きたか。				
定期考査			○	○	○	1
D 暮らしの中の地図とGIS 【知識・技能】 GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できる。 紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できる。 GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	・地図情報を活用する方法として、紙地図と電子地図としてのGISがあることを理解し、地理院地図や地形図を通して認識するとともに、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法と技能を身につける。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 GISの特徴や利用方法、そのしくみについて理解し、GISで作成した地図を重ね合わせ、地域の特徴を分析する方法を身につけたか。 地理院地図やひなたGISなどインターネット上のGISの機能を利用し、地理空間情報を活用できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な地図について、目的により表現方法に違いがあることが判断できたか。 紙の地形図と電子地図の用途や活用について、地図の有用性の観点からそれぞれの長所を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りの地図に興味を持ち、意欲的に地図の知識を活用できたか。 GISの作業に意欲的に取り組み、GISで作成した地図から地域の特徴を分析しようとしたか。	○	○	○	3
E 地形と生活文化 【知識・技能】 地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができる。 地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できる。 生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。 地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	・世界の大地形の広がりやプレートテクトニクスにもとづくプレート境界と関連し、変動帯に位置する場所では山岳地域や高原を形成し、地震あるいは場所によって火山を伴うことを理解したうえで、河川、海岸などの外的営力による地形の形成とその広がり、およびそれらの地形と対応した人々の生活と地形を取り巻く環境の変化について、写真や地形図などの資料を通して考える。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 地形についての知識を身につけ、世界的視野から地形の分布の特徴を捉えることができたか。 地形図から等高線や地図記号などを判読し、地形の特徴や土地利用を捉えることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の地形をプレートテクトニクスと関連づけ、世界の地形配置と比較しながら考察できたか。 生活している地域の地形の特徴について、写真、地形図などから捉え、人間生活との関連を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 地形図や分布図、写真、模式図の読み取りに意欲的に取り組んだか。 地形図を用いた作業に意欲的に取り組み、地形と人間生活とのつながりを捉えようとしたか。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1

F 気候と生活文化 【知識・技能】 大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できる。 各気候の分布の特徴を理解できる。 雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できる。 気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できる。 写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できる。 雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	・世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解するとともに、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯、寒帯の各気候は人々の生活文化とどのような関わりをもつのか、どのような生活の工夫があるのか、写真や雨温図などの資料から考える。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 大気の大循環と海洋に起因した大気のしくみを理解できたか。 各気候の分布の特徴を理解できたか。 雨温図や写真から情報を抽出し、各気候と植生の対応や、それらが関連した人々の生活の特徴を読み取り、整理できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 世界規模の大気のしくみが人間生活に影響していることを資料をもとに考察できたか。 気候の分布の規則性を気候区分図をもとに考察できたか。 写真などの資料をもとに、各気候により景観が異なることを捉え、農業や生活への影響を考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 雨温図や写真の判読を通じて、世界各地の気候や生活文化の対応について意欲的に探究できたか。 雨温図やハイサーグラフなどの気候資料の作成に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	7
G 産業と生活文化 【知識・技能】 世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できる。 主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できる。 世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できる。 産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	・世界の生活文化が各地域の環境に基づいて発達する産業を基盤に成り立つ現状を捉え、世界スケールにおける第1次産業、第2次産業、第3次産業の地域的な特徴をグローバル化の観点で理解するとともに、産業の発達と生活文化がどのようにかわるのか、産業はどのように変化してきているのか、主題図などの資料を通じて理解を深める。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の視野からみた産業の特徴と分布を概観できたか。 主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の産業の分布と発達を捉えることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 自然環境が産業の形成に関わっていることを資料をもとに考察できたか。 世界の産業の変化をグローバル化の観点で考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な商品が世界規模の産業構造の中に位置づけられることを意欲的に探究できたか。 産業が発達し続けていることを、時事的話題とともに意欲的に捉えようとしたか。	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1
H 宗教・言語と生活文化 【知識・技能】 世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。 主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できる。 世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できる。 難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究できる。	・世界でみられる生活文化の多様性について、宗教、言語の分布や人々との関わりを主題図や写真などの資料を通じて理解するとともに分布を示す要因について理解するとともに、世界の少数民族、移民、難民の問題を捉えながら、マイノリティなどをふまえた多様な人々に配慮し、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 世界の多様性を理解し、異文化を尊重する姿勢が重要であることを理解したか。 主題図や写真、グラフ、統計資料から世界の宗教の分布と特徴を捉えることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 生活と宗教の関わりについて地域性や歴史的背景をもとに捉え、資料をもとに考察できたか。 世界的な難民と移民の問題を地図などの資料から捉え、考察できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の宗教の特徴をまとめ、身近な地域の外国人の受け入れなどと関連させて追究できたか。 難民と移民の問題構造を調べ、難民問題の解決策を意欲的に探究できたか。	○	○	○	3
M 地球的課題と国際協力 【知識・技能】 持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できる。 国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できる。 地球的課題の現状を捉え、原因や改善のための取り組みについて整理できる。	・地球規模で起こる資源の問題について主題図などの資料をもとに考え、偏在して分布することで保有国と非保有国との間に格差があることを認識する。 ・エネルギー資源の変化を捉えながら資源の大量消費によって枯渇の恐れがあることを認識し、これらの解決のための取り組みをSDGsと関連づけて考える。	【知識・技能】 持続可能な社会を目指すSDGsの目標と趣旨を理解できたか。 国際機関のウェブサイトや主題図、統計資料などから、環境問題の現状や原因を情報収集できたか。 地球的課題の現状を捉え、原因や改善のための取り組みについて整理できたか。 【思考力、判断力、表現力等】 世界のどこで、どのような地球的課題が生じ				

【思考力、判断力、表現力等】 世界のどこで、どのような地球的課題が生じているのかを資料をもとにまとめ、SDGsの目標をふまえ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題の原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できる。	・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	ているのかを資料をもとにまとめ、SDGsの目標をふまえ、持続可能な社会の実現に向けた提案ができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的課題の原因の理解とともに、地球市民の一人として、それらの問題が人々の生活に与える影響について意欲的に探究し、どのような行動ができるかを追究できたか。	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1

3 学 期	N 日本の自然災害と防災 【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できる。 日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できる。 地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できる。 日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できる。 自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができる。 GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できる。 災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できる。	・日本列島の地形と気候の特徴を主題図、グラフ、写真などの資料をもとに、多様性や自然の恩恵があることを認識しながら、自然災害を与える要素があることを理解するとともに、日本各地では毎年のように様々な自然災害が起きていることを理解するため、風水害、火山、地震・津波、都市型の災害の具体的な事例について、新旧の地形図、ハザードマップ、気象情報、電子地図などを利用する技能とともに捉え、防災意識の向上に繋げる。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 日本の自然環境の特徴と生活文化との関わりを理解できたか。 日本列島における自然災害について具体的事例を通じて、災害のしくみや特徴、地域性、防災への取り組み方や課題を理解できたか。 地形図やハザードマップを活用し、防災と避難行動について考察する技能を身につけることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の自然環境と生活との関わりを主題図や写真から考察できたか。 日本の自然環境の特徴を反映した自然災害が発生してきたことを資料から読み取り、それをふまえて自然災害時の対策を考察できたか。 自らの生活圏の防災について、資料から適切に判断し、課題と避難行動を協議できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境の特徴と自然災害とのつながりを意欲的に探究し、過去の災害事例を調べることができたか。 GISなどを活用し、自然災害への対策を意欲的に探究できたか。 災害発生時の自助・共助・公助をふまえ、身近な地域で発生が予想される場面を想定して、意欲的に対策を検討できたか。	○	○	○	3
	0 生活圏の諸課題と地域調査 【知識・技能】 地域的な課題についての調査法を身につけることができる。 統計資料を収集し、それを主題図に表現する方法をが身につけたか。 【思考力、判断力、表現力等】 調査結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につけることができる。調査で得られた結果を、主題図や表などに整理できる。 得られた資料を根拠にして、地域の特徴や課題を見つけ、まちづくりのプランを構想できる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できる。 主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表できる。	・日本が抱える地域的な課題について、身近な地域を例に取り上げ、人口の少子高齢化、過疎化について景観観察や聞き取りを通じた調査の技能を身につける。 ・現地調査と統計資料によって得られた結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につける。 ・調査結果をもとに、地域の活性化に向けたまちづくりのプランを発表する。 ・教材 教科書・地図帳・資料集 ・一人1台端末の活用、地理院地図、Google Earth等を適宜利用	【知識・技能】 地域的な課題についての調査法を身につけることができたか。 統計資料を収集し、それを主題図に表現する方法をが身につけたか。 調査結果を主題図などにまとめ、他地域と比較して考察する技能を身につけることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 調査で得られた結果を、主題図や表などに整理できたか。 得られた資料を根拠にして、地域の特徴や課題を見つけ、まちづくりのプランを構想できたか。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域に様々な課題があることを見出し、意欲的に主題図やグラフなどを資料を作成できたか。 主題図などの調査結果を根拠にして、意欲的に地域の課題解決に向けたまちづくりのプランを検討し、発表できたか。	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1